



令和6年度 第1回そだつ部会

『こども期の心のキズを減らそう』

令和6年10月15日 in 中央図書館



心のキズといっても、大きいものだけでなく、小さいものもあります。おとなが気づかないものもあります。どうすれば減らせるのかを、みんなで考えました。31名の方の参加がありました。

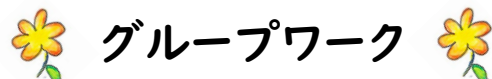


話題提供

トラウマ体験が及ぼす影響、特に発達障がいとの関連について、ご自身のお子様の実体験から話題提供がありました。



そだつ部会・部会長 平中 健氏
(あかいわ児童発達支援センター)



グループワーク



立ち直る力を高めるために



りんくステーション副センター長 濱田 敏子氏

成人期に抱える生きづらさの原因の一つにASE(子ども期の逆境体験)という概念があります。リスクを抱える子どものレジリエンスを高めるための処方箋、ヒントのお話をいただきました。



参加者からの感想



- 子供にもっと目を向けてあげることの大切さがわかりました。子供を認めてあげること、自分を認めることも大事。子供のできたことをほめてのばしてあげたいです。子供に向き合うようにします。(保護者)
- 心の問題は非常に難しいと思いました。でも大切な事ではあるので、療育の中で、話をして行く必要を感じました。(療育等事業所)
- 身近に感じるテーマでとりくみやすかった。傷ついた子どもをたくさんみてきたのでこれからも考えていきたいと思いました。不安の強い子どもさんの支援について参考にしていきたいです。(相談支援事業所)
- 日々小さいストレスを積み重ねてほっている子どもは多くいる。そういうケースについて考え直す機会になった。環境の改善はもちろんだが、それだけでなく、心理的なフォローも考えていきたい。(学校)
- 子どもは大人の反応や様子を見ているため気をつけなくてはと思いました。どんなことに傷つきトラウマになっているか…いろいろな人の話をきけてよかったです！ACEサバイバーよんでみたいと思います。ありがとうございました。(行政)

